

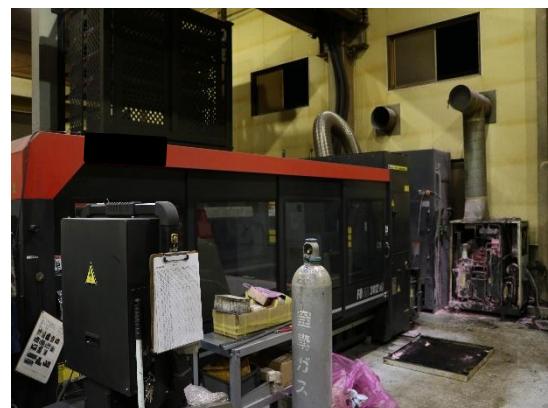
令和7年度消防防災科学技術賞 消防庁長官表彰を受賞

令和7年11月20日、東京都三鷹市公会堂において、総務省消防庁主催の令和7年度消防防災科学技術賞の表彰式が第73回全国消防技術者会議にて執り行われました。

この賞は「消防防災機器等の開発・改良の部」、「消防防災科学に関する論文の部」及び「消防職員による原因調査事例の部」において、優れた業績をあげた等の個人又は団体を消防庁長官が表彰することにより、消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、平成9年度（自治体消防50周年）にスタートし本年度で29年目を迎えます。

今年度は全国の消防機関、大学、消防機器メーカー等から総計70作品の応募がある中、当消防本部から提出した「コンプレッサ内でグラインダの火花が無炎燃焼を来たした火災事例」の1事例（消防職員における原因調査事例の部）が「優秀賞」として消防庁長官表彰を受賞しました。

今回の受賞は、当消防本部の事例が高く評価されたものであり、昨年の受賞に引き続き4年連続の受賞となります。



受賞事例及び受賞者は以下のとおりです。

○消防職員による原因調査事例報告の部

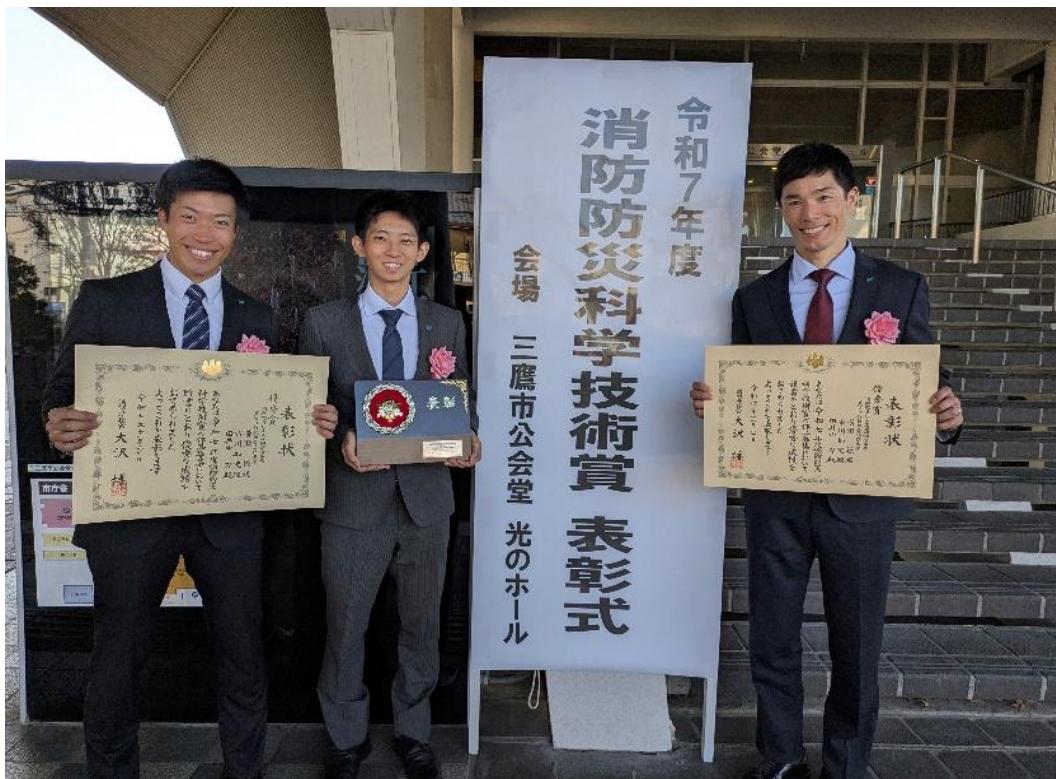
優秀賞

「コンプレッサ内でグラインダの火花が無炎燃焼を来たした火災事例」

消防司令補 市川 知史（愛知消防署）

消防司令補 黄瀬 諒（愛知消防署）

消防士 田井中 力（日野消防署）



全国各地の消防職員をはじめ国や地方の様々な専門的知識を持った方々が集まる中、盛大な表彰式が執り行われ、式典に引き続き行われた発表会において、受賞した事例の発表を行いました。事例については選考委員会から高く評価されており、その内容について多くの方が関心を持たれ、質問や情報の提供を求められました。

☆11月25日（火曜日）消防本部内での管理者・副管理者への受賞報告会の様子



当消防本部では火災、救急、救助業務、さらには火災原因を究明し調査結果を火災予防に反映するといった予防業務も含めて精力的に取り組んでおります。

今後においても、地域住民皆様の安心と安全な暮らしを守るとともに、皆様からの信頼に応えるべく、一丸となって日々消防業務に取り組んでまいります。